

## ＜令和4年度主要事業＞

第7次小樽市総合計画の「まちづくり 6つのテーマ」等に基づき、本年度実施した主な事業は次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大 （括弧内の金額は予算現額）】

### 1 安心して子どもを生み育てることのできるまち（子ども・子育て）

◎① 新生児聴覚検査事業費 789千円(1,264千円)

- ・新生児聴覚検査の初回検査費用を助成（上限3,000円/1人）
- 令和4年度：助成人数 278人

☆② 産後ケア事業費 625千円(894千円)

- ・産後1年未満の心身の不調又は育児不安等がある母親を対象に、助産師等によるデイケア型及びアウトリーチ型ケアを実施
- ・令和4年度から利用時の自己負担額を無償化

☆③ 産後サポート事業費 175千円(242千円)

- ・育児に不安を抱える産婦等とその子を対象とした相談支援や、産婦同士の情報交換の場を提供
- ・令和4年度から対象者を1歳未満の子を持つ産婦に拡大

☆④ 重度心身障害者・ひとり親家庭等・こども医療助成費(市の単独分) 90,363千円(92,467千円)

- ・令和4年8月診療分から課税世帯の小学生の入院外における自己負担額を初診時一部負担金のみとし、助成範囲を拡大

◎⑤ エアコン整備事業費（公立保育所） 18,113千円(18,113千円)

- ・新型コロナウイルス感染対策及び熱中症対策を目的に、エアコンが未整備の公立3保育所（赤岩・手宮・最上）に換気機能付きエアコンを設置

☆⑥ 病児保育事業費補助金 5,531千円(7,129千円)

- ・病気になった際に一時的に保育する病児保育事業を実施する学校法人小樽学園いなほ幼稚園に対する補助
- ・令和4年度から利用者の対象範囲を拡大（1歳～小学6年生まで）

◎⑦ 民間保育施設等整備支援事業費補助金 276,223千円(276,226千円)

- ・認定こども園が行う、園舎改築経費の一部を補助
- ◇さくら幼稚園 274,587千円(274,587千円)
- ◇ゆりかご保育園 1,636千円(1,639千円)

⑧ 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業費 35,981千円(36,531千円)

- ・民間の保育所、認定こども園、幼稚園に勤務する職員の処遇改善を支援するため、職員の収入の引き上げ措置を実施する民間の特定教育・保育施設に対して必要な費用を補助

◎⑨ 放課後児童健全育成事業費（移転・新築関係経費） 17,222千円(19,980千円)

- ◇勤労女性センター内放課後児童クラブの稲穂小学校への移転及び施設整備 8,477千円(9,980千円)
- ◇銭函小学校放課後児童クラブ新築関係経費 8,745千円(10,000千円)

☆⑩ 子どもの学習・生活支援事業費 4,803千円(4,830千円)

- ・ひとり親家庭、生活保護世帯、生活困窮世帯の中学生を対象として、学習の支援や困りごと相談に応じるなど生活支援を実施
- ・令和3年度に引き続き、試行として受講歴のある新高校1・2年生を受け入れ

☆⑪ 母子・父子家庭自立支援給付金支給事業費 19,933千円(32,060千円)  
・ひとり親家庭の自立の促進を図るための資格取得を支援  
・令和4年度から、自立支援教育訓練給付金の支給上限を20万円/年から40万円/年に拡大  
・高等職業訓練促進給付金の修業年数の緩和（修業期間1年以上→6月以上）及び民間資格も給付対象とする資格の拡充

☆⑫ スクールカウンセラー関係経費 3,938千円(3,964千円)  
・派遣回数について、在籍児童数が100～300人未満の小学校については最大月2回、300人以上の小学校については最大月3回に拡大

☆⑬ 学校図書館整備費（図書館司書関係） 12,689千円(13,346千円)  
〈小学校6,943千円(7,193千円)、中学校5,746千円(6,153千円)〉  
・学校図書館の運営改善と環境整備を図るため、学校図書館司書を1名増員し合計8名を配置

◎⑭ 机・椅子更新事業費 12,322千円(13,000千円)  
〈児童用(小学校1、2年及び特別支援学級)11,572千円(12,000千円)〉  
〈生徒用(特別支援学級)750千円(1,000千円)〉  
・GIGAスクール構想に伴う1人1台端末の常時活用に適した新JIS規格の机に計画的に更新

◎⑮ オンライン学習機能強化事業費 3,979千円(3,981千円)  
〈小学校2,546千円(2,547千円)、中学校1,433千円(1,434千円)〉  
・コロナ禍における持ち帰り学習やオンライン授業等で必要となるイヤホンや端末収納ケースを整備

☆⑯ 部活動指導員配置促進事業費 2,110千円(3,988千円)  
・教職員の働き方改革や部活指導の充実を図るため中学校に配置する部活動指導員の指導時数を拡大

◎⑰ 学校図書支援対策事業費 1,000千円(1,000千円)  
・児童、生徒の読書意欲喚起を目的に、学校に巡回・配本するための図書を購入

☆⑱ コミュニティスクール導入等促進事業費 997千円(1,500千円)  
・学校運営や学校の課題に対して保護者や地域住民が参画する「学校運営協議会制度」（コミュニティ・スクール）を推進するため、導入校の活動支援や、導入準備校における地域説明会などを実施  
・令和4年度は新たに9校（長橋中、塩谷小、幸小、長橋小、向陽中、銭函中、張碓小、桂岡小、銭函小）に導入

☆⑲ 教育支援活動推進事業費 876千円(2,090千円)  
・ボランティアとの協働により、小中学校の教育活動を支援  
・令和4年度から社会教育施設等を活用し、子どもの運動機会を確保

◎⑳ 校舎等耐震補強等事業費（忍路中央小） 454,014千円(525,563千円)  
・校舎及び屋内運動場の耐震補強工事、暖房設備及び照明設備の改修並びに校舎トイレの洋式化改修等を実施

◎㉑ 校舎等耐震補強等事業費（桂岡小） 21,384千円(42,724千円)  
・校舎及び屋内運動場の耐震補強工事に向けた実施設計

◎㉒ 屋内運動場暖房設備改修事業費（望洋台小） 11,524千円(14,925千円)  
・望洋台小学校の屋内運動場暖房設備を更新

◎㉓ トイレ改修事業費（朝里小） 89,821千円(97,200千円)  
(令和3年度から繰越)

- ・朝里小学校の校舎トイレを洋式化改修

◎㉔ 屋内運動場暖房設備改修事業費（桜町中） 10,929千円(13,243千円)

- ・桜町中学校の屋内運動場暖房設備を更新

◎㉕ 長寿命化改修等事業費（朝里中） 33,605千円(57,000千円)

- ・校舎の長寿命化改良工事に向けた実施設計

## 2 誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち（市民福祉）

① ふれあいパス事業費 181,091千円(190,038千円)

- ・70歳以上の市民に対し、「ふれあいパス」（ふれあい回数券購入チケット又はJR特殊乗車券）を交付

② 〔国民健康保険事業〕特定健康診査等事業費 67,254千円(81,409千円)

- ・国保加入者の特定健康診査受診率向上のため、令和3年度に引き続き課税世帯についても自己負担額を無料とする。また、10月末までの早期受診者全員にQ.U.Oカードを贈呈（11月以降は抽選）

☆③ 〔後期高齢者医療事業〕保健・介護一体的実施推進事業費 1,657千円(6,975千円)

- ・健康寿命の延伸を目指すため、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について実施圏域を1→3圏域に拡大し支援を充実

◎④ 〔後期高齢者医療事業〕保健事業推進事業費 4,281千円(4,736千円)

- ・後期高齢者における疾病の早期発見・重症化を予防する観点から健康診査・歯科健康診査の受診を呼びかけるリーフレット配布や未受診者への個別勧奨等を実施

☆⑤ 各種予防接種費 199,894千円(222,366千円)

- ・小児の定期予防接種や、高齢者のインフルエンザ予防接種等に対する助成を実施
- ・令和4年度から子宮頸がん予防接種について積極的勧奨及び救済措置開始

◎⑥ 第3次小樽市男女共同参画基本計画策定経費 373千円(400千円)

- ・男女共同参画社会の推進を図るための次期計画を策定

## 3 強みを生かした産業振興によるにぎわいのまち（産業振興）

① 森林環境整備事業費 10,064千円(10,125千円)

- ・森林の適正な経営管理を進めるため、森林管理制度に基づき、未整備森林所有者への管理意向調査を実施
- ・森林機能の普及のため、旭展望台周辺の環境整備として通路危険木等処理、遊歩道丸太階段の更新
- ・木材利用を促進するために、おたる自然の村の木製アスレチック遊具を更新

② 水産物ブランド化推進事業費 1,042千円(2,200千円)

- ・小樽の地魚や水産加工品の知名度アップと消費拡大、水産加工品の新商品開発やブランド化を図る取組を支援
- ・令和4年度は、社員食堂でのおさかなフェア等でのPR、小樽の地魚の料理フェア開催や令和3年度小樽水産加工グランプリ受賞商品の宣伝及び販路拡大への支援を実施

◎③ 海外販路拡大ECサイト活用促進事業費 575千円(576千円)  
・市内事業者の海外販路拡大を支援するため、JETRO（日本貿易振興機構）が行う海外におけるEC販売プロジェクトJAPAN MALL事業に商品登録した事業者に対し、登録に係る翻訳・商品撮影等の費用に対する補助

◎④ （仮称）堺町駐車場整備事業費 334,550千円(387,413千円)  
・堺町通り商店街の市営駐車場として運営するための用地を取得

⑤ おたるプレミアム付商品券事業費 236,718千円(236,719千円)  
・市内全業種を対象とした商品券を販売することで消費を喚起し、市内経済の活性化を推進  
・13,000円分の商品券を10,000円で販売

☆⑥ 空き店舗対策支援事業費 692千円(2,850千円)  
・小樽市商店街振興組合連合会に所属する14商店街及び小樽市場連合会に所属する6市場の空き店舗を賃借し、新たな店舗の開設や増設及び拡張を行う場合に店舗家賃の一部を助成  
・令和4年度から中心4商店街については市外からの移転、店舗開設を助成対象とするとともに、新たな店舗を開設する場合には内外装工事費を支援

⑦ 創業支援事業費 5,867千円(9,000千円)  
・創業当初の負担を軽減し経営の安定化を図るため、新規創業者に対し事務所等家賃補助及び内外装工事費の一部を補助

◎⑧ 小樽産品販路拡大強化支援事業費 6,948千円(7,000千円)  
・小樽産品の販路維持と更なる販路拡大を図るため、商談会への出展強化と市内事業者に対する新商品開発、取引拡大のための商談、販売促進、催事開催の支援

◎⑨ 経営力強化支援事業費 3,919千円(4,000千円)  
・地域経済の活性化及び中小企業の経営力強化を図るため、女性復職の制度化の周知と商品のパッケージデザイン制作の支援を実施

☆⑩ 企業誘致促進事業費 3,457千円(3,650千円)  
・立地環境等をPRするため、首都圏の産業展などへの出展や、市内への立地を検討している首都圏等の企業訪問を実施  
・新たな誘致企業を発掘するため、（一財）日本立地センターによる全国の企業を対象にした設備投資動向に関する調査を複数自治体にて合同で実施

◎⑪ 立地環境視察費用補助金 524千円(1,000千円)  
・小樽市内に事業拠点を持たない事業者に対し、市内への本社機能の移転やサテライトオフィス等開設検討のための視察費用に対する補助

◎⑫ 教育旅行誘致促進事業費 2,590千円(5,196千円)  
・道内外からの教育旅行誘致のため、道外の教育旅行説明会・相談会への参加や道内外の学校及び旅行代理店に対し「教育旅行ガイドブック」を送付  
・市から教育旅行の販売計画（道外高校、小樽市内1泊以上）の承認を受けた旅行会社に対し、その宿泊実績に応じ補助金支給

◎⑬ おもてなし推進事業費 1,250千円(1,450千円)  
・観光事業者、市民の全体的なホスピタリティ向上に取り組むためのアドバイザーを招へい

◎⑭ 旧第3倉庫ライトアップ事業費 5,000千円(5,000千円)  
・新たな夜の観光コンテンツの創出、北運河エリアの回遊性を高めるために旧北海製罐第3倉庫の外観をライトアップする機能を設置

☆⑮ 観光誘致促進事業費補助金 6,800千円(6,800千円)  
・一般社団法人小樽観光協会が実施する観光誘致促進の取組に対する補助  
・令和4年度は国内プロモーション、教育旅行プロモーション、おもてなし向上、夜の観光振興事業などの取組を実施

◎⑯ 教育旅行ガイドブック作成費補助金 1,300千円(1,300千円)  
・一般社団法人小樽観光協会が3年に1度作成している教育旅行ガイドブックの作成費に対する補助

⑰ 日本遺産地域活性化事業費 1,155千円(1,700千円)  
・日本遺産を活用した地域活性化の取組を実施  
・「北前船」、「炭鉄港」及び日本遺産候補地域のパネル展を開催  
・「小樽文化遺産ポータル」を活用した情報発信

⑱ 観光税導入検討事業費 41千円(98千円)  
・宿泊施設に対するアンケート調査を実施。有識者会議では観光税導入に係る検討を行い提言をとりまとめ。

⑲ 国直轄工事費負担金（港湾施設）

◇北防波堤改良事業費 9,616千円(15,000千円)  
・老朽化した施設の機能回復のための改良工事を実施  
令和4年度：被覆工  
※令和4年度全体工事費 50,000千円  
(うち市負担 1.5/10=7,500千円、前年度精算追徴金=2,116千円)

◇第3号ふ頭岸壁改良事業費 191,392千円(284,000千円)  
(予算現額のうち90,800千円は令和5年度へ繰越)  
・老朽化した施設の長寿命化及び大型クルーズ船の接岸を可能とするための改良工事を実施  
令和4年度：16番及び17番岸壁 舗装工ほか、ドルフィン調査設計  
※令和4年度全体工事費 579,600千円  
(うち市負担 1/3=193,200千円、前年度精算還付金=1,808千円)

⑳ クルーズターミナル整備事業費 256,547千円(291,453千円)  
(予算現額のうち31,800千円は令和5年度へ繰越)  
・第3号ふ頭の既存貨物上屋（市営上屋33号）の一部を改良し、クルーズ船寄港時におけるC I Q審査等のためのターミナル機能を整備  
令和4年度：上屋改修工事ほか

㉑ 駐車場等基盤整備事業費 130,465千円(144,000千円)  
(うち29,876千円(42,000千円)は令和3年度から繰越)  
・第3号ふ頭の上屋解体跡地に、クルーズ旅客の円滑な移動を確保するバス・タクシー等の駐車場を整備  
令和4年度：土工、排水工、舗装工ほか

㉒ 基部緑地整備事業費 ー千円(90,500千円)  
(予算現額90,500千円を令和5年度へ繰越)  
・賑わいや魅力づくりを目的に、市民や観光客が集うことができる空間として、第3号ふ頭基部を緑地として整備

◎㉓ 小型船だまり整備事業費 45,147千円(46,600千円)  
・第3号ふ頭及び周辺再開発計画に基づき、小樽港で運航している観光船を第3号ふ頭基部に集約  
令和4年度：地質調査、実施設計

◎⑭ 基部岸壁改良事業費 7,788千円(7,863千円)

- ・第3号ふ頭の物流機能向上のため、岸壁エプロンの舗装を実施  
令和4年度：舗装工

◎⑮ 基部臨港道路改良事業費 13,172千円(61,037千円)

(予算現額のうち44,100千円は令和5年度へ繰越)

- ・第3号ふ頭の物流機能向上のため、基部臨港道路の改良及び舗装改良を実施  
令和4年度：実施設計、舗装改良

⑯ 港湾改修事業費

◇色内ふ頭老朽化対策事業費 258,291千円(290,067千円)

(うち57,707千円(58,100千円)は令和3年度から繰越)

- ・老朽化した色内ふ頭護岸の機能回復及び延命化のため、護岸改良工事を実施  
令和4年度：地質調査、実施設計ほか

※令和4年度全体事業費975,029千円(うち下水道会計負担分741,022千円)

◇若竹地区防波堤改良事業費 18,700千円(71,500千円)

(予算現額のうち50,400千円は令和5年度へ繰越)

- ・老朽化した防波堤の機能回復のため、防波堤改良工事を実施  
令和4年度：ブロック製作

#### 4 生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち（生活基盤）

① 臨時市道整備事業費 279,394千円(350,000千円)

(予算現額のうち52,246千円は令和5年度へ繰越)

- ・市道の老朽化路線の更新、溢水対策などの道路改良を実施  
令和4年度：陸橋通線ほか19路線

② 橋りょう長寿命化事業費 110,580千円(179,990千円)

(うち8,994千円(29,990千円)は令和3年度から繰越)

(予算現額のうち23,600千円は令和5年度へ繰越)

- ・「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、老朽化した橋りょうの長寿命化と維持管理コストの削減を図るため、修繕等を計画的に実施

令和4年度：〔修繕工事〕上朝里橋

〔耐震化工事〕銭函高架橋

〔設計業務〕旭橋

〔塗膜調査〕栄橋、朝里川温泉橋

◎③ 望洋台地区歩道改修事業費 5,665千円(6,000千円)

- ・街路樹の根上りにより破損している望洋台地区歩道の修繕を実施

☆④ 移住促進事業経費 300千円(727千円)

- ・居住地としての小樽の情報発信（「移住情報サイト」などによる情報発信）及びPRを行い、潜在的な移住希望者の掘り起こしを行うとともに、個々の相談に対応

☆⑤ 移住・定住促進住宅取得費等補助金 900千円(3,000千円)

- ・三世代同居近居のために移住する方などに対し、3年以上居住することを条件に中古住宅の取得及びリフォームに要する経費を補助
- ・令和4年度から近居の居住地区制限を市内全域に拡充するなど条件を一部緩和

◎⑥ ウィズコロナ移住促進事業費 7,800千円(7,800千円)

- ・移住希望者向けのオンライン移住体験ツアーを実施
- ・移住希望者へ仕事や住まいの関連情報を提供するためのサポートセンターを設置するほか、移住者同士の交流の場として移住者ミーティングを実施

- ⑦ 除雪費 2,094,449千円(2,105,500千円)
- ・冬期間における円滑な道路交通を確保し、市民の快適な冬の暮らしや経済活動を支えるため、バス路線及び主要通学路を優先した、計画的で効率的な除排雪を実施
- ⑧ ロードヒーティング更新事業費 76,241千円(151,200千円)
- ・老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新  
令和4年度：奥沢北山手線ほか2路線
- ⑨ 建設機械整備費 181,940千円(218,807千円)
- ・安定的な除排雪体制確保のため、市所有の除排雪機械を計画的に増強・更新し、除排雪業務受託業者に貸与  
令和4年度：ロータリ除雪車6台購入
- ⑩ 北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会関係経費 2,854千円(2,900千円)
- ・北海道新幹線の開業効果を最大限活用したまちづくりを目的とする官民連携の協議会を開催
  - ・令和4年度は、新小樽（仮称）駅利用促進戦略の検討及び取りまとめを実施
- ⑪ 新小樽（仮称）駅周辺駐車場等整備関係事業費 10,098千円(10,675千円)
- ・新駅を中心とした周辺まちづくりに焦点を当てた都市・地域総合交通戦略の策定に向けた検討及び新駅周辺地域（道路）の測量調査を実施
- ⑫ 立地適正化計画推進経費 8,728千円(9,324千円)
- ・中心拠点と複数の地域拠点に都市機能が集約され、それらが交通ネットワークで結ばれた効率的なまちづくりを進めるための、「立地適正化計画」策定（令和5年度予定）に向け、策定委員会やワークショップを開催
- ⑬ 鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金 34,267千円(37,408千円)
- （うち33,512千円(34,908千円)は令和3年度から繰越）
- ・鉄道駅バリアフリー化のための施設整備に係る費用の一部を補助  
令和4年度：南小樽駅エレベーター新設等
- ⑭ 地域公共交通活性化事業費 921千円(1,710千円)
- ・小樽市地域公共交通活性化協議会の開催及び計画の方針に基づく施策の実施のほか、さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会に参画し、広域の公共交通計画を策定
- ⑮ 後志地域生活交通確保対策事業費補助金 630千円(633千円)
- ・小樽市への通勤、通学等で必要な公共交通手段である中央バス積丹線の路線の確保・維持のため、事業の一部を補助
- ⑯ 生活バス路線運行費補助金 170,943千円(170,944千円)
- ・市民生活に重要な役割を果たしている市内路線バスの確保・維持のため、生活バス路線を運行する乗合バス事業者に対し補助
- ◎⑰ 本庁舎維持管理経費（施設改修事業費） 1,912千円(1,912千円)
- ・本庁舎の非常用電源を72時間以上連続稼働させるためのタンク容量を増設
- ◎⑱ 避難所施設整備事業費（教育委員会庁舎） 17,244千円(17,244千円)
- ・避難所施設として指定されている教育委員会庁舎及び附属屋内小運動場のトイレ改修を実施
- ⑲ 防災関係経費（避難支援事業費） 309千円(600千円)
- ・避難行動要支援者個別避難計画作成に向けた準備

㊿ 機動力増強・近代化事業費 54,036千円(54,456千円)

- ・災害対応特殊消防ポンプ自動車1台の更新

㊿ 救急業務高度化推進事業費 35,369千円(35,980千円)

- ・高規格救急自動車1台の更新

## 5 まちなみと自然が調和し、環境にやさしいまち（環境・景観）

㊿ 地域再エネ導入戦略策定事業費 9,096千円(9,964千円)

- ・再生可能エネルギー導入の方向性、基本方針を策定

㊿ CO<sub>2</sub>削減・省エネ最適化診断事業費 54千円(123千円)

- ・市有施設において、具体的な二酸化炭素削減効果や投資額・経費削減効果が可視化される「省エネ最適化診断」を実施

㊿ 公園施設長寿命化計画推進経費 6,193千円(6,500千円)

- ・令和3年度に実施した健全度調査結果を基に93公園の公園施設の遊具等に係る「第2次小樽市公園施設長寿命化計画」を策定

㊿ 都市公園安全・安心事業費 37,649千円(37,750千円)

- ・公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園遊具を地域住民のニーズを踏まえて更新  
令和4年度：遊具更新（蘭島駅前公園、平磯公園、朝里川公園等）

㊿ トイレの洋式化等整備事業費 1,742千円(2,200千円)

- ・市内公園（しらかば公園、赤岩公園、桜丘の上公園、みつばち公園）のトイレの洋式化等整備

☆㊿ 市内各公園維持補修費 59,906千円(60,846千円)

- ・市内各公園の遊具やベンチ等の維持補修
- ・令和4年度から比較的用户の多い公園の除草回数を増加

㊿ 旧国鉄手宮線整備事業費 1,992千円(2,213千円)

- ・旧国鉄手宮線の枕木及び花壇の更新

㊿ 旧第3倉庫維持管理経費 3,078千円(3,474千円)

- ・市が取得して保全することになった旧第3倉庫の施設維持管理（屋外階段修繕、屋上防水の部分修繕、外壁灯設置等）

## 6 生きがいにあふれ、人と文化を育むまち（生きがい・文化）

㊿ 学習室換気改善事業費 279千円(279千円)

- ・図書館の学習室の換気を改善するため、開閉ができない採光用窓の改修

㊿ 収蔵車両等補修事業費 509千円(3,500千円)

- ・総合博物館が所蔵する鉄道車両の補修  
令和4年度：ディーゼル機関車（DE10形）等

㊿ 特別展開催経費（美術館） 3,894千円(3,900千円)

- ・「画家と娘―岸田劉生〈麗子〉とともに 大正・昭和初期の小樽の画家たち」  
(令和4年7月16日～9月19日開催)



- ④ 重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店保存修理工事費  
292,407千円(292,998千円)  
・小樽市を代表する重要文化財である建造物の保存・活用を図るための耐震補強工事及び保存修理  
令和4年度：本屋根及び腰屋根の葺き替え、屋根飾り柵の補修、屋根軒先の補強、豎樋の補修等

- ◎⑤ 文化財保護活用等維持補修費  
1,244千円(1,800千円)  
・重要文化財「旧手宮鉄道施設」の維持補修  
転車台の枕木更新、機関車庫一号の大扉修繕、機関車庫三号の枕木更新

- ⑥ 手宮公園競技場整備事業費  
5,698千円(5,700千円)  
・日本陸上競技連盟の第3種公認陸上競技場として必要な附帯設備（棒高跳び用マット）の更新

## 7 その他の主要事業

- ☆① 総連合町会補助金  
12,442千円(12,445千円)  
・総連合町会の円滑な運営のために要する経費を補助  
・単位町会補助金の世帯割及び総連合町会運営費補助金を増額

- ② 町内会館等建設助成金  
1,850千円(1,850千円)  
・相生会館の改修工事費の一部を助成

- ③ ふるさと納税関係経費  
468,796千円(475,029千円)  
・「ふるさと納税」制度による寄附者へのお礼として地場産品を贈呈  
・ポータルサイト数を増設し、「お礼の品」の限定商品や定期便開発実施

- ◎④ 窓口キャッシュレス決済導入事業費  
4,271千円(4,271千円)  
・一部の市役所窓口でキャッシュレス決済を導入  
市民税課、戸籍住民課、各サービスセンター、総合博物館（本館・運河館）

- ◎⑤ デジタル外部人材関係経費  
11,529千円(12,091千円)  
・民間の知見を活かして本市のDXを推進するため、外部人材を招へい

- ◎⑥ AI・RPA関係経費  
9,328千円(10,000千円)  
・繰り返し行われる業務システムへの入力作業などの軽減を図るため、RPAやAI-OCR（デジタル技術）を導入

- ◎⑦ 行政手続オンライン化経費  
11,503千円(32,053千円)  
・市民の利便性向上を目的にオンラインによる行政手続きが可能となるシステムを導入

- ◎⑧ 業務改善推進事業費  
7,663千円(7,700千円)  
・令和3年度実施の「業務量調査」のデータを基に、対象業務を選定し、費用対効果を踏まえた業務改善や効率化の具体策を検討

- ◎⑨ コンビニ交付サービス事業費  
13,021千円(13,420千円)  
・コンビニエンスストアの端末から「住民票」「印鑑証明」を取得できるサービスを導入（マイナンバーカード所有者に限る）

- ⑩ 組織改革関係事業費  
47,250千円(64,868千円)

- ◎◇移転等経費（こども発達支援センター）  
910千円(1,100千円)  
・組織改革によりこども発達支援センターが教育委員会庁舎（旧商業高校校舎）へ移転することに伴う物品の運搬及び備品（カーテン）の購入

◎◇移転等経費（建設事業室） 2,805千円(9,350千円)  
・組織改革により建設事業室（塩谷）が建設部庁舎へ移転することに伴う物品の運搬及び備品（書庫棚）の購入  
◇建設部庁舎改修事業費 43,535千円(54,418千円)  
・建設事業室（塩谷）が建設部庁舎へ移転することに伴う改修

⑪ 市民会館大規模改修事業費 85,116千円(91,952千円)  
・公共施設長寿命化計画に基づき、令和13年度以降の第2期での建替えを見据えた設備等の改修工事  
令和4年度：外壁改修、屋上防水工事ほか

◎⑫ 配信設備等整備事業費（市民会館・市民センター） 1,208千円(1,208千円)  
・市民会館大ホール及び市民センターマリナーホールに有線LANを設置し、オンライン配信環境を整備  
◇市民会館 654千円(654千円)  
◇市民センター 554千円(554千円)

⑬ 葬斎場再整備事業費 48,125千円(54,900千円)  
・令和2年度からの火葬炉使用料有料化に合わせて、施設の延命化を図るため、計画的に大規模改修を実施  
令和4年度：暖房設備ほか

◎⑭ 清掃事業所改修事業費 111,504千円(126,466千円)  
・清掃事業所事務所及び車庫が旧天神小学校へ移転することに伴う改修  
・改修に合わせ照明をLED化（ゼロカーボン推進事業）

◎⑮ 事業内職業訓練センター改修事業費 11,614千円(17,977千円)  
・事業内職業訓練センターが旧天神小学校へ移転することに伴う改修  
・改修に合わせ照明をLED化（ゼロカーボン推進事業）

◎⑯ 勤労青少年ホーム施設維持補修費 1,485千円(1,485千円)  
◇擁壁修繕事業費 495千円(495千円)  
・経年劣化によるホーム前面（第一大通側）の擁壁の修繕  
◇体育館照明LED化事業費 990千円(990千円)  
・照明器具を水銀灯からLED照明に更新（ゼロカーボン推進事業）

☆⑰ 個人番号カード交付事業費 44,382千円(44,427千円)  
・市民に対する申請支援として、マイナンバーカードの休日・夜間交付窓口設置のほか、臨時出張申請受付窓口を開設  
・休日・夜間交付、申請窓口：毎月第2土曜日、毎週木曜日  
・商業施設等で臨時申請受付窓口を実施

◎⑱ 参議院議員通常選挙（令和4年7月10日執行） 51,793千円(52,740千円)

◎⑲ 小樽市長選挙（令和4年8月7日執行） 36,760千円(36,767千円)

## <市制施行100周年記念関連事業>

◎① 北海道日本ハムファイターズ市町村応援大使関係事業費 2,158千円(2,200千円)

◇選手訪問事業 1,659千円(1,700千円)  
・2022年北海道日本ハムファイターズ小樽市応援大使である松本剛選手、今川優馬選手によるトークショーなどのイベントを実施

◇スポーツ交流事業 499千円(500千円)  
・北海道日本ハムファイターズのベースボールアカデミー指導者による野球教室等の開催

◎② 100周年記念式典開催事業費 1,202千円(1,202千円)  
・市制施行100周年記念式典を開催（令和4年10月21日開催）

- ◎③ 100周年記念誌発行事業費 2,880千円(2,884千円)  
・市制施行100周年記念誌を発行
- ◎④ 100周年記念魅力発信事業費 1,147千円(1,147千円)  
・食と酒の大型催事イベント（北海道 お酒と食のおいしいマルシェ2022）にて小樽市ブースを展開（令和4年7月1日～7月3日開催）  
・北海道新聞への紙面広告掲載及び特設サイトを活用したPRを実施
- ◎⑤ 100年企業表彰式開催事業費補助金 5,429千円(6,532千円)  
・小樽市とともに歩んできた創業100年以上の老舗企業を表彰する式典の開催や記念誌作成に対する補助
- ◎⑥ オタルサマーフェスティバル開催事業費補助金 3,000千円(3,000千円)  
・オタルサマーフェス実行委員会が開催する、昭和61年から平成6年まで開催されていたサマーフェスティバルの現代版「オタルサマーフェス2022」（令和4年7月30日、31日開催）に対する補助
- ◎⑦ おたる天狗山夜景の日開催事業費補助金 1,000千円(1,000千円)  
・おたる天狗山夜景の日実行委員会が市制施行100周年事業として特別開催する「おたる天狗山夜景の日」イベントに対する補助
- ◎⑧ （仮称）小樽の魅力展開催事業費補助金 1,000千円(1,000千円)  
・市制100周年を記念し小樽の魅力展実行委員会が、札幌大丸松坂屋百貨店にて開催する「情報発信型」イベントNEO OTARU MARKETに対する補助
- ◎⑨ 官公庁船等一般公開事業費 207千円(300千円)  
・小樽港において港湾関係機関等の官公庁船の一般公開を実施（令和4年8月28日実施）
- ◎⑩ 子どもたちが選ぶ「ふるさと100選」事業費 1,891千円(1,936千円)  
・児童生徒が各小中学校区おすすめポイントを「ふるさと自慢100選」として選び発表会を開催（令和5年1月10日開催）  
・作成した散策マップをHPに掲載し、観光客へのPRや教育旅行の誘致に活用
- ◎⑪ 海の学び事業費（図書館） 973千円(1,150千円)  
・小樽、北海道の発展の源となった「海」との関わりを広く発信し、「海」に対する理解を深めることを目的に小樽と北海道の過去・現在・未来についての展示やVR体験活動、講演などを実施（令和4年8月27日～9月29日開催）
- ◎⑫ 鉄道歴史体感プログラム事業費 443千円(600千円)  
・「北海道における明治期の鉄道歴史体感」として、明治期の駅長制服を着用し、アイアンホース号の乗客をお迎えするほか、発車の合図として鳴らすために100年前の鐘を設置
- ☆⑬ 特別展開催経費（文学館） 357千円(357千円)  
・小樽にゆかりのある作家・文学作品の展覧会を常設展とは異なった視点で開催  
・「旧小樽地方貯金局竣工70周年記念特別展 通信・郵政建築展 一源流と発展」（令和4年8月6日～10月2日開催）  
・「100年前の青春群像 一文芸誌『群像』で活躍した小樽の文学青年」（令和4年10月8日～11月27日開催）
- ☆⑭ おたる運河ロードレース大会実行委員会補助金 3,000千円(3,000千円)  
・おたる運河ロードレース大会実行委員会に対する補助  
・市制施行100周年記念大会とし、ゲストランナーを招へい（令和4年6月19日開催）

## ＜主な新型コロナウイルス感染症対策関連事業＞

### ① 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細かに必要な事業を実施できるよう国の補正予算や予備費で措置された、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を以下の事業に活用

【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

2,156,637千円[3,326,560千円]

(令和5年度への繰越分を除く(事業費))

- ・窓口キャッシュレス決済導入事業費<再掲> 4,271千円[4,271千円]
- ・行政手続オンライン化経費<再掲> 548千円[11,503千円]
- ・リモート会議環境整備事業費 1,284千円[1,284千円]
- ・庁内WEB会議促進事業費 6,176千円[6,176千円]
- ・ウィズコロナ移住促進事業費<再掲> 7,800千円[7,800千円]
- ・公共交通事業者等支援事業費 19,119千円[19,119千円]
- ・避難所衛生環境整備事業費 80千円[80千円]
- ・コンビニ交付サービス事業費<再掲> 6,522千円[13,021千円]
- ・高齢者世帯等生活支援事業費 176,268千円[249,444千円]
- ・障害認定審査会ICT推進事業費 2,400千円[2,400千円]
- ・障害福祉施設電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業費 13,908千円[13,908千円]
- ・介護保険施設電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業費 39,827千円[39,827千円]
- ・介護保険事業特別会計繰出金 6,459千円[6,459千円]
- ・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費(市独自分) 102,865千円[158,458千円]
- ・ファミリーサポートセンター事業費(新型コロナウイルス感染症対応分) 12千円[32千円]

- ・児童館関係経費(新型コロナウイルス感染症対応分) 126千円[250千円]
- ・放課後児童健全育成事業費(新型コロナウイルス感染症対応分) 469千円[1,399千円]
- ・保育施設等物価高騰対策支援事業費 21,990千円[21,990千円]
- ・保育環境改善等事業費補助金 3,835千円[7,662千円]
- ・市立保育所費(感染症対策事業費) 974千円[1,945千円]
- ・地域子育て支援センター事業費(新型コロナウイルス感染症対応分) 111千円[331千円]
- ・エアコン整備事業費(公立保育所)<再掲> 18,113千円[18,113千円]
- ・子育て世帯応援クーポン券事業費 137,368千円[137,368千円]
- ・配信設備等整備事業費(市民会館・市民センター)<再掲> 1,208千円[1,208千円]
- ・病院事業会計繰出金 41,250千円[41,250千円]
- ・公衆浴場・クリーニング業支援金給付事業費 14,404千円[14,404千円]
- ・医療機関エネルギー価格高騰支援金給付事業費 53,357千円[53,357千円]
- ・保健所体制強化事業費 12,727千円[12,727千円]
- ・新型コロナウイルス検査事業費 3,651千円[10,048千円]
- ・クラスター対策事業費 6,521千円[668,595千円]
- ・化学肥料購入支援金給付事業費 80千円[80千円]
- ・アフターコロナを見据えた「消費者動向調査」事業費 2,750千円[2,750千円]
- ・海外販路拡大ECサイト活用促進事業費<再掲> 575千円[575千円]
- ・おたるプレミアム付商品券事業費<再掲> 236,718千円[236,718千円]
- ・事業継続緊急支援事業費 132,157千円[132,157千円]
- ・貨物自動車運送事業者支援事業費 28,346千円[28,346千円]
- ・感染防止対策協力支援金給付事業費 799,323千円[1,134,285千円]
- (令和3年度から繰越)
- ・小樽フェア開催応援事業費補助金 1,000千円[1,000千円]
- ・天狗山観光施設整備事業費補助金 4,200千円[4,200千円]

・観光物産プラザ管理運営経費（新型コロナウイルス感染対策・対応事業費）	405千円[405千円]
・もっとオタル観光ギフト券事業費	30,310千円[30,310千円]
・宿泊施設誘客促進事業費	97,945千円[97,945千円]
・消防職員感染防止対策事業費	428千円[428千円]
・感染拡大防止対策事業費（消防庁舎）	920千円[920千円]
・災害対応分散型会議システム整備事業費	4,976千円[4,976千円]
・教育委員会ICT化事業費	2,649千円[2,649千円]
・感染症対策等支援事業費（小・中学校）	14,175千円[28,350千円]
・オンライン学習機能強化事業費（小・中学校）＜再掲＞	3,979千円[3,979千円]
・学校給食原材料費等支援事業費	14,935千円[14,935千円]
・学校給食費保護者負担軽減事業費	76,995千円[76,995千円]
・感染拡大防止対策事業費（図書館）	128千円[128千円]

## ② 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金関連事業

道の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を以下の事業に活用

【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

・受診・相談センター設置事業費	39,600千円[39,600千円]
・クラスター対策事業費＜再掲＞	98,523千円[668,595千円]

## ③ その他の新型コロナウイルス感染症対策関連事業

先に掲げた新型コロナウイルス感染症対策関連事業以外に、国庫支出金、道支出金等を活用し、以下の事業を実施

【括弧内の金額は予算現額】

3,404,137千円(4,344,873千円)

・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費	15,860千円(24,090千円)
------------------------------	--------------------

(うち9,520千円(9,600千円)は令和3年度から繰越)

・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費	296,031千円(705,450千円)
	(令和3年度から繰越)
・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費（国の施策分）	1,161,077千円(1,440,000千円)
・子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	150,928千円(172,000千円)
◇ひとり親世帯分	90,274千円(98,322千円)
◇ひとり親世帯以外分	60,654千円(73,678千円)
・子育て世帯臨時特別給付金事業費	27,620千円(32,000千円)
・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費	2,561千円(10,175千円)
	(令和3年度から繰越)
・市民会館・公会堂・市民センター施設関係経費（臨時休館等損失補填金）	4,350千円(4,351千円)
・新型コロナウイルス感染症対策事業費	444,750千円(497,359千円)
・感染症患者宿泊療養施設等移送事業費	29,003千円(43,391千円)
・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	860,272千円(935,069千円)
・新型コロナウイルスワクチン接種事業費	301,307千円(360,571千円)
・高齢者施設等職員PCR検査事業費	65,362千円(75,400千円)
・新型コロナウイルス予防接種健康被害救済費	44,491千円(44,491千円)
・観光物産プラザ管理運営経費（臨時休館等損失補填金）	525千円(526千円)